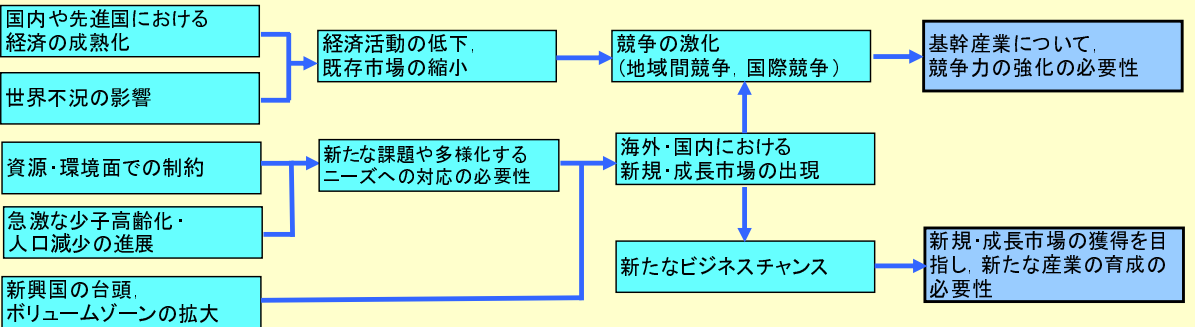


新たな産業振興ビジョン 中間まとめ (案) 【骨子】

現状

県内総生産(実質) 12兆9,820億円(全国11位)	一人当たり県民所得 306万円(全国10位)	製造品出荷額等 10兆2,935億円(全国10位)	付加価値額 2兆8,990億円(全国10位)
--------------------------------	---------------------------	------------------------------	---------------------------

課題・トレンド



本県の強み

基幹産業である製造業・ものづくり技術・ノウハウ

- 中四国九州で5年連続1位の製造品出荷額等
- 製造業において、バランスのとれた重層的な産業構造
- 明治以降培われたものづくり技術・ノウハウ、卓越したものづくり基盤技術
- 中核部材・コア技術を有する企業、オンリーワン・ナンバーワン企業の存在

アジアにおける優位性

- アジアとの友好提携
- アジアに対する地理的近接性
- 高い国際的知名度
- 国連機関、外国領事館の存在
- 中四国地域におけるゲートウェイ機能

研究開発機関等の集積と成長ポテンシャル

- 広島中央サイエンスパークを中心とした研究開発機能等の集積
- 環境・エネルギー関連産業の取組、産業化への大きな可能性

中国地方における中核拠点性

- 広島都市圏における人口集積
- 行政機関、支店機能の集積
- 3大プロ(野球、サッカー、交響楽団)の存在

強みを最大限に活用

目指すべき姿(将来像)

- 成長分野を中心に、イノベーションが加速し、既存産業に並ぶ新たな基幹産業が育成
- 基幹産業において、新たな挑戦や意欲ある取組により、アジアを中心とする成長市場を獲得
- 経営能力や高度な技術・技能を備えた産業人材の育成・集積が進み、産業活動を牽引

取組の方向性

本県の強みを最大限に活かして、新規・成長市場の獲得を目指した挑戦！

1 イノベーションを通じた新たな産業の育成

(※)ここでいう「イノベーション」は、「技術革新」のみならず、既存のもの新結合を含んだ広い概念である。

- ① 環境・エネルギー関連産業の育成 (例)装置・部品部材製造、製品製造・システム開発
- ② 交流・賑わい型産業の育成 (例)観光振興
- ③ 新たなビジネスモデルの創出 (例)農商工連携、医工連携

3 アジア戦略

(県内企業が、アジアの成長市場を取り込み、広く事業を展開)

- ① 成長市場を取り込むビジネス展開
 - 中国やインドなど、新興国市場への参入・獲得を目指す県内企業のマーケティング力の向上支援
 - 県内投資の拡大・促進
- ② 優秀な海外人材の活用
 - 海外高度人材の受入・育成への取組
- ③ 観光客誘致の促進
 - 中国、台湾などをターゲットとしたインバウンド観光の推進
 - 中国5県連携による外国人観光客の誘致

2 基幹産業の中長期的な競争力の強化

県内企業が、県内において持続的に発展し、事業活動を継続的に実施

- ① 基盤技術の高度化の推進 (例)ものづくり基盤技術
- ② 次世代技術・コア技術の開発・活用の推進 (例)次世代自動車、素材加工技術

下支え(支援)

4 新たな支援の仕組みづくり

新たな挑戦や意欲ある取組を行う中小企業を中心とした県内企業を下支え(支援)

- ① 技術・知識
 - 産学連携による新たな研究開発支援の仕組みの構築
 - 新たな知的財産戦略の展開
 - 中小企業技術革新制度(日本版SBIR)の推進による新商品開発支援
- ② 人材
 - 産業を支える高度人材(技術人材・経営人材等)の育成等
 - ハンズオン支援
 - 基盤技術を継承する技能人材等の育成等
 - 男女がともに働きやすい環境整備
- ③ 資金
 - リスクマネー(中長期の成長資金)の確保
 - 成長段階に応じた資金供給
- ④ インフラ
 - 規制改革・民間開放の積極的な推進
 - 地域全体で産業育成を促進する仕組みの構築
 - 起業や新分野へのチャレンジを応援する仕組みの強化
 - 物流インフラの整備・都市機能の強化